

令和6年8月通常会議
教育厚生常任委員会
報告事項

地方独立行政法人市立大津市民病院 中期計画の進捗状況について

令和6年9月17日
健康保険部保健所地域医療政策課

目 次

- I 令和5年度財務諸表等の報告について
03スライド
- II 令和5年度業務実績評価結果について
09スライド
- III 中期目標期間終了時に見込まれる
業務実績評価結果について 17スライド

(単位の記載のない金額の単位は百万円で表記)

I 令和5年度財務諸表等の報告について

(地方自治法第243条の3の規定に基づく報告)

※詳細はタブレット配信している「地方独立行政法人市立大津市民病院
令和5年度経営状況説明書」を御確認ください。

1 決算報告の流れ

(1) 財務諸表等の承認、議会への報告

財務諸表等の提出（6月末まで、法人→市）（地独法第34条第1項）



財務諸表等の承認（市→法人）（地独法第34条第1項）



議会へ報告（地自法第243条の3）

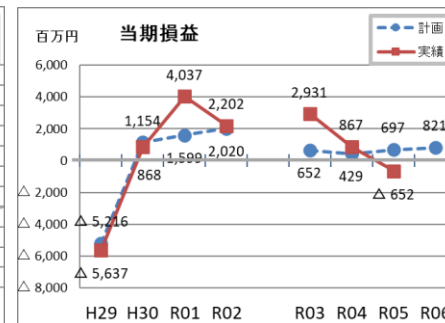
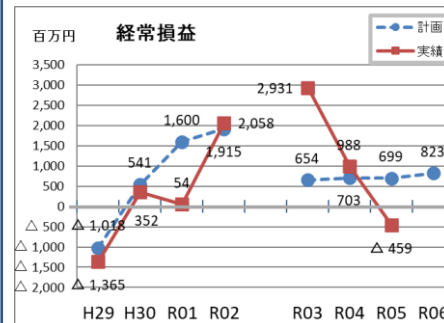
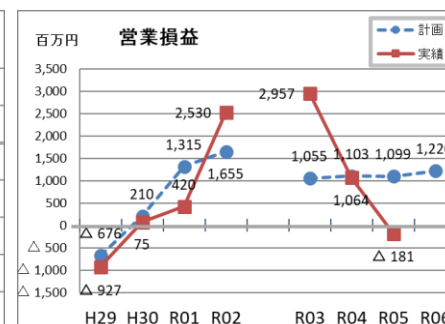
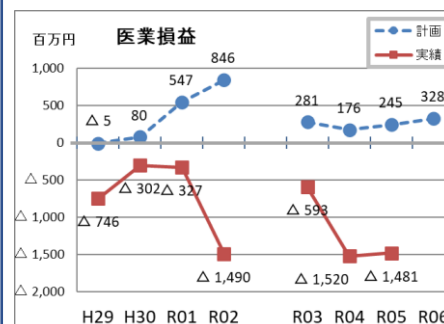
2 決算の概要

(1) 損益計算書

新型コロナウイルス感染症の5類移行などの影響で、経常損益は悪化。

No.	項 目	計画額 A	決算額 B	計画比 B－A	備 考
1	医業損益	245	△1,481	△1,826	医業収益△1,424 (計画11,282⇒実績9,858) 給与費(△)+621 (計画6,216⇒実績6,837) 材料費(△)△284 (計画2,456⇒実績2,172)
2	営業損益	1,099	△181	△1,280	運営費負担金(1,466) 新型コロナウイルス感染症に かかる国県等補助金(513)
3	経常損益	699	△459	△1,158	運営費負担金(158)
4	当期損益	697	△652	△1,349	むつみ寮ほかの解体費 (令和5年度分132)

計画と実績の推移

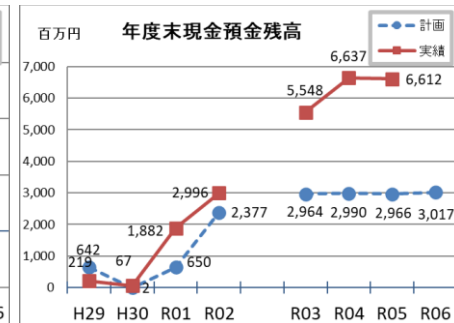
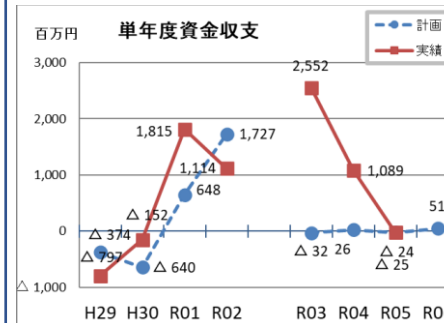


(2) キャッシュフロー計算書

診療収入は減少、人件費等の支出が増加したが、補助金収入（令和4年度未収金分含む）により資金減少は小幅。

No.	項 目	計画額 A	決算額 B	計画比 B-A	備 考
1	業務活動 C F	+1,203	+859	△344	診療収入△1,005 (計画11,002⇒実績9,997) その他収入+1,131 (計画214⇒実績1,345) 給与費支出(△)+521 (計画6,580⇒実績7,101) 材料費支出(△)△93 (計画2,461⇒実績2,368)
2	投資活動 C F	△386	△245	+141	固定資産の取得による支出△222
3	財務活動 C F	△841	△639	+202	長期借入+583 元金償還△1,129(移行前地方債 償還△779、長期借入金償還△350)
4	資金増減額	△24	△25	△1	
5	資金 期首残高	2,786	6,637	+3,851	
6	資金 期末残高	2,762	6,612	+3,850	

計画と実績の推移

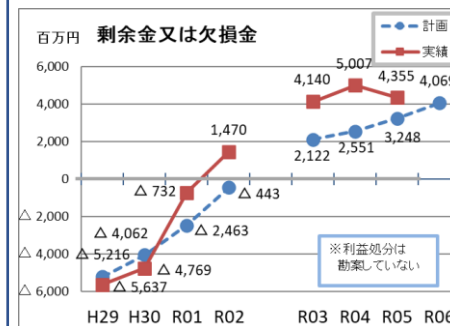
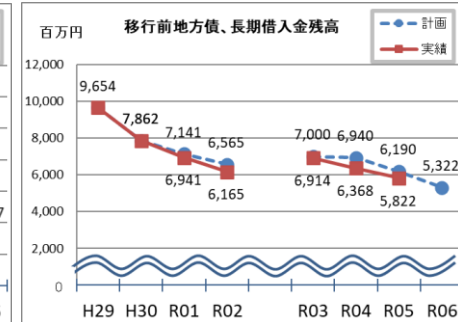
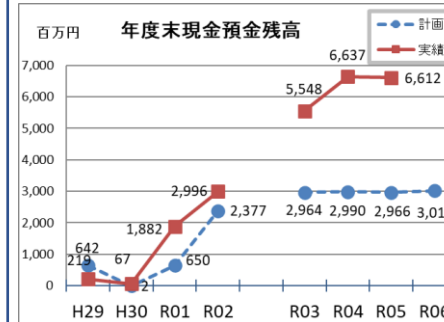


(3) 貸借対照表

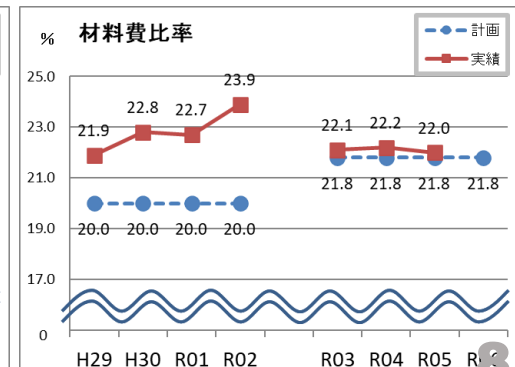
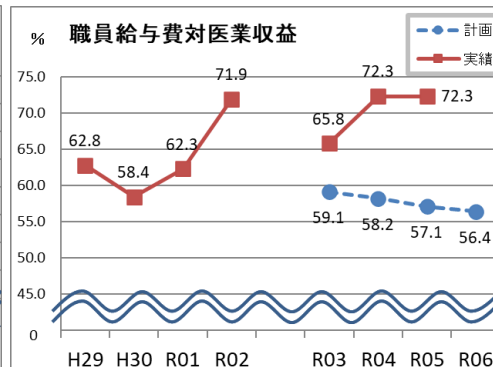
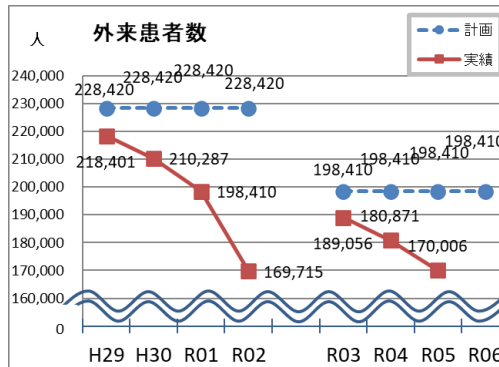
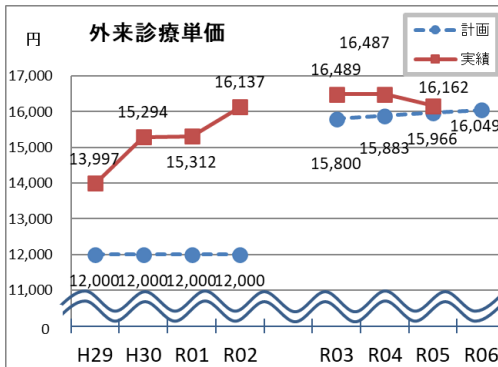
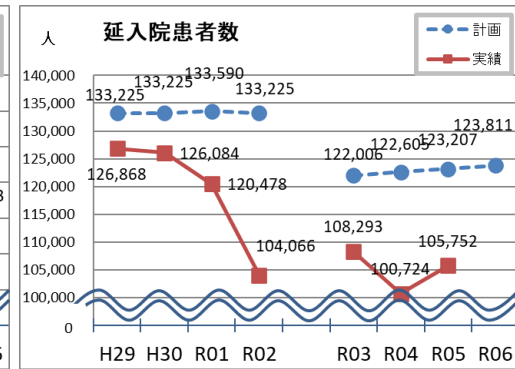
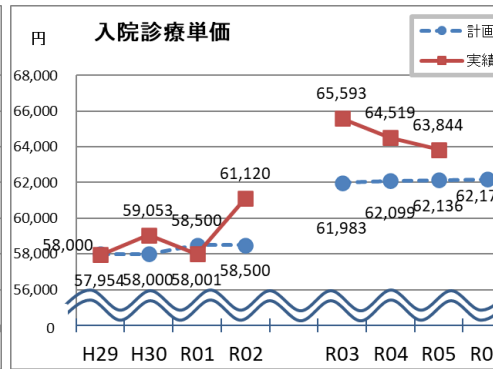
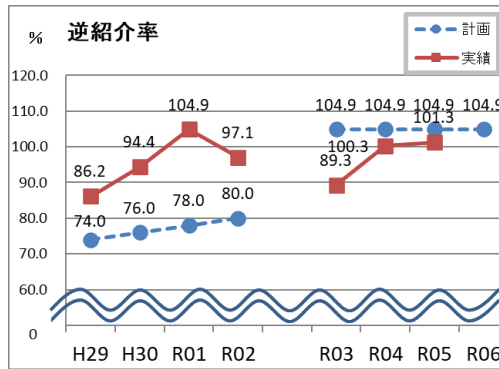
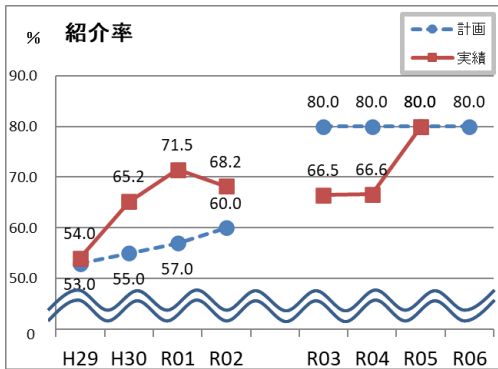
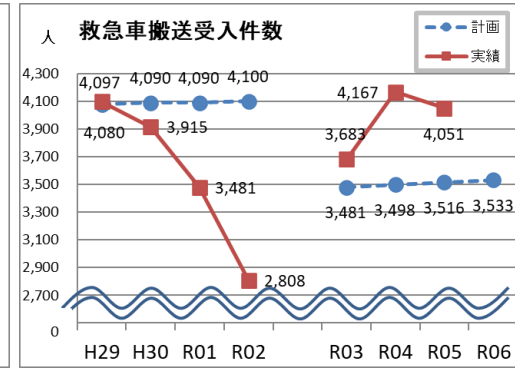
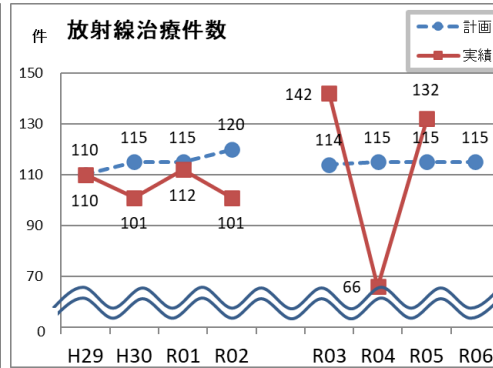
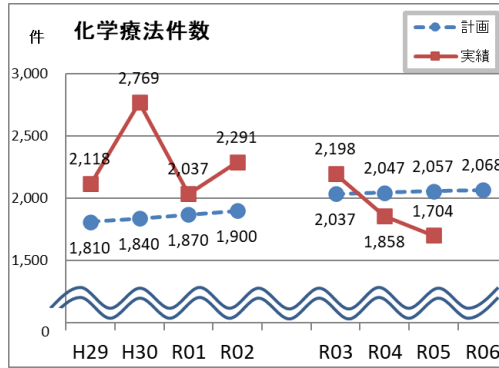
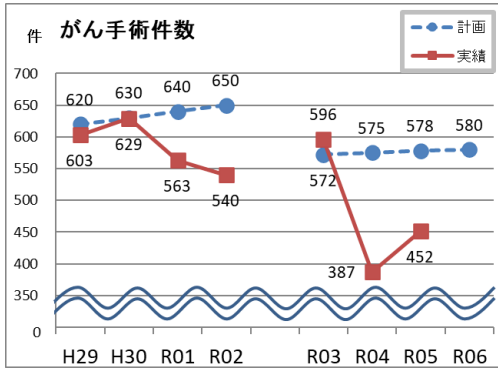
総資産は減少。

No.	項 目	期首 A	期末 B	増減 B－A	備 考
1	固定資産	10,275	9,798	△477	償却資産+263 償却累計(△)+679 無形△88
2	流動資産	9,389	8,404	△985	現金預金△25(6,637⇒6,612) 未収金△961(2,694⇒1,733)
3	総資産	19,664	18,202	△1,462	
4	固定負債	11,447	10,653	△794	資産見返負債+△160 (補助金等での整備) 有利子負債△640 (借入+583.流動へ△1,223) 退職給付引当金+93
5	流動負債	2,947	2,932	△15	未払金・未払費用△109 (1,307⇒1,198) 有利子負債+94(1,129⇒1,223)
6	負債 計	14,395	13,585	△810	
7	純資産 計	5,269	4,617	△652	当期純損失△652
8	負債・純資産	19,664	18,202	△1,462	

計画と実績の推移



(4) 主な業務実績



Ⅱ 令和5年度業務実績評価結果について

（地方独立行政法人法第28条第5項の規定に基づく報告）

※詳細はタブレット配信している「地方独立行政法人市立大津市民病院
令和5年度業務実績評価結果報告書」を御確認ください。

1 年度評価の流れ

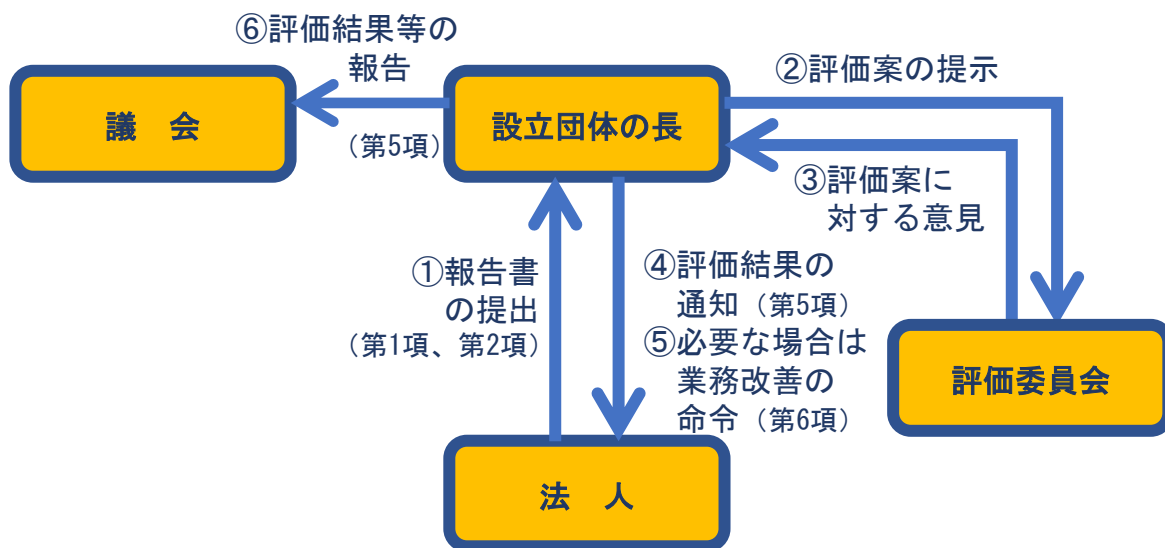
(1) 中期目標、中期計画の進捗管理

中期目標、中期計画の進捗管理と P D C A (P D S) サイクルの過程の関係

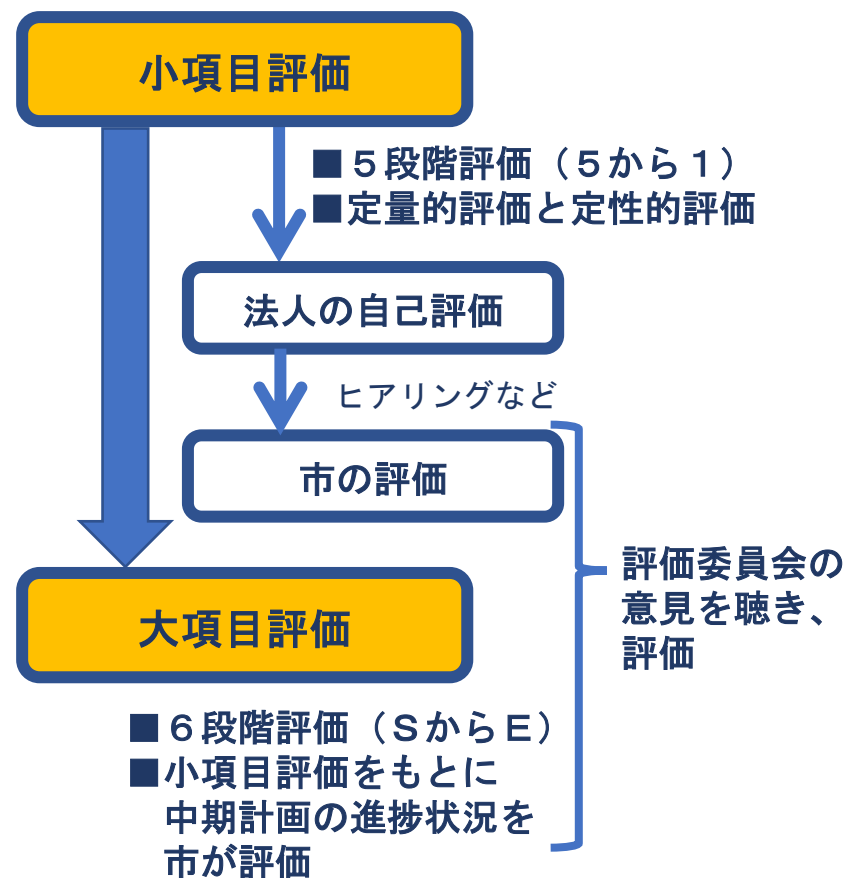
No.	P D S サイクル	発生する事象	根拠
1	P	中期目標の設定（変更含む）	地独法
2	P	中期計画の認可（変更含む）	条例
3	D + S	事業年度における第1から3四半期終了後、 事業年度終了時に見込まれる業績確認	条例
4	D + S	毎事業年度終了後の業績評価	条例
5	D + S	中期目標期間終了時に見込まれる 業績評価	地独法
6	S	中期目標期間終了時における業績評価	条例
7	S	中期目標期間終了後の検討	地独法

(2) 業務実績に関する評価結果の実施（地独法第28条）

ア 毎事業年度終了後の業績評価 PDCA（PDS）サイクルの 過程 [D + S]



イ 業務実績評価の流れ



評価委員会は、市長の諮問に応じ、
意見を述べるものとする

（根拠：地方独立行政法人市立大津市民病院
評価委員会条例第2条第2号）

2 大項目評価

(1) 全体評価（評価結果及び判断理由）

- 中期目標、中期計画の達成に向けて「遅れている」と評価。
主な原因は、多くの指標で年度計画値の達成には至らなかったため。
- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行する中、一般診療を行いながら感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症患者を診察し、適宜必要な病床運用を行ったことに加え、過去最高に増加した市内の救急搬送や能登半島地震などの災害医療に対応するなど、公立病院として求められる役割に応えた。
- 超高齢社会が進展する中、圏域での地域包括ケアシステムで市民病院が担うべき役割を展望し、専門医による訪問診療の支援や、近隣医療機関との人事交流など、圏域における有機的な機能分担を促進する取組を評価。
- 院内風土を刷新し、経営改善の裾野を広げ、トップダウンとボトムアップの相乗効果を図る取組を進めたことを評価。
- 財務状況は、経常収支は459百万円の損失で経常収支比率など多くの計画値で達成には至らなかった。持続可能な経営の実現に向け、今後の財務状況を注視。
- 引き続き地域医療を支える中核病院としての役割をしっかりと担い、適切な財務状況を維持できるよう、市民病院の今後の取組に期待。

(2) 大項目の評価結果

No.	大項目		大項目評価
1	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	C	やや遅れている
2	第3 業務運営の改善及び効率化	B	おおむね計画どおり進んでいる
3	第4 財務内容の改善	D	遅れている

【参考】

大項目評価基準	S	A	B	C	D	E
	特筆すべき進捗状況にある。 (全ての小項目の評価が3から5まで、かつ、評価委員会が特に認める場合)	計画どおり進んでいる。 (全ての小項目の評価が3から5まで)	おおむね計画どおり進んでいる。 (小項目の評価において3から5までが8割以上)	やや遅れている。 (小項目の評価において3から5までが5割以上8割未満)	遅れている。 (小項目の評価において3から5までが5割未満)	重大な改善すべき事項がある。 (評価委員会が特に認める場合)

(2) 第3 業務運営の改善及び効率化

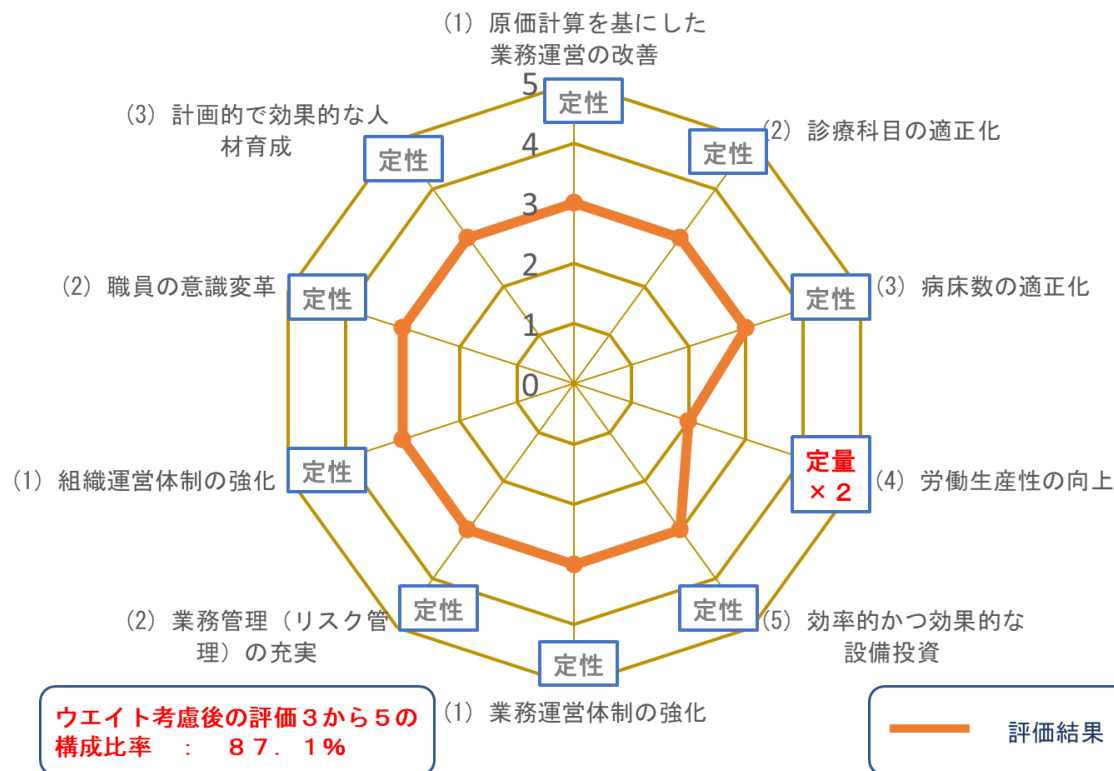
ア 評価結果 → B おおむね計画どおり進んでいる。

大項目評価基準	S 特筆すべき 進捗状況にある。	A 計画どおり進んでいる。	B おおむね計画どおり 進んでいる。	C やや遅れている。	D 遅れている。	E 重大な改善すべき 事項がある。
---------	------------------------	------------------	--------------------------	---------------	-------------	-------------------------

イ 判断理由（主なもの）

- 理事長及び院長が職員の意見を積極的に聴き、風通しの良い職場づくりに努めている点
- 人事制度面から幹部職員育成のスピードアップを図っている点

ウ 小項目ごとの評価結果 （レーダーチャート）



(3) 第4 財務内容の改善

ア 評価結果 → D 遅れている。

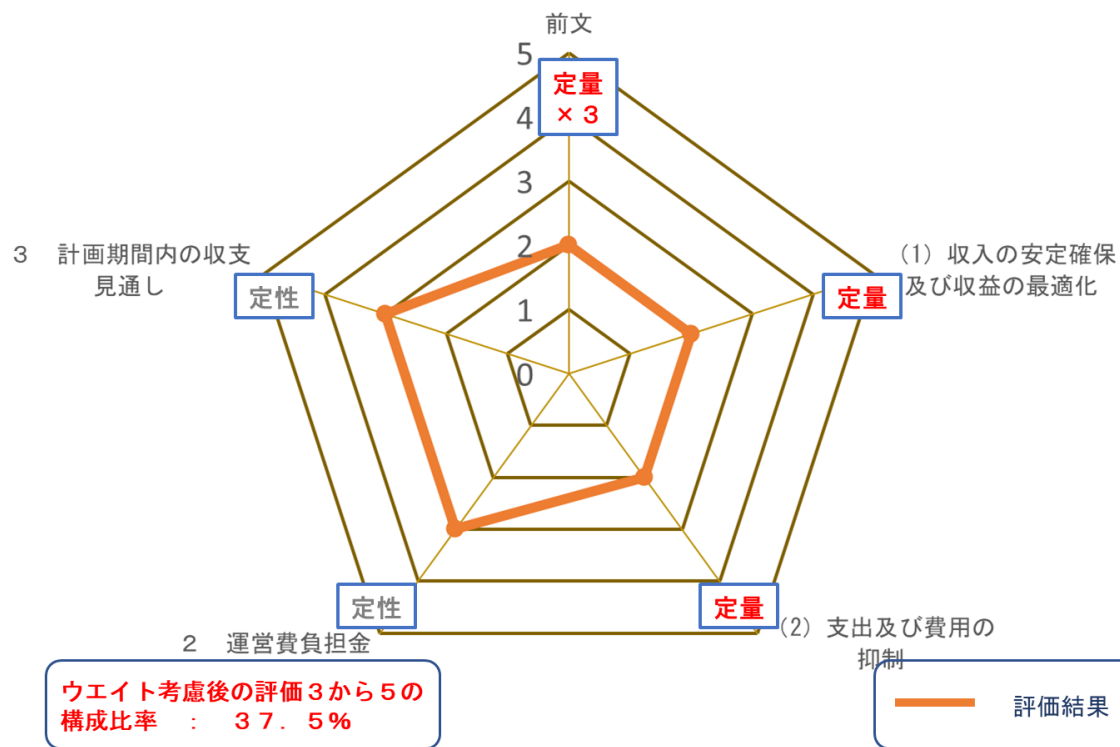
大項目評価基準	S 特筆すべき 進捗状況にある。	A 計画どおり進んでいる。	B おおむね計画どおり 進んでいる。	C やや遅れている。	D 遅れている。	E 重大な改善すべき 事項がある。
---------	------------------------	------------------	--------------------------	---------------	-------------	-------------------------

イ 判断理由（主なもの）

▲ 経常収支比率が計画値の達成には至らなかった点

○ 多くの指標で年度計画値の達成には至らなかったが、令和4年度実績と比べて改善している点

ウ 小項目ごとの評価結果
（レーダーチャート）



Ⅲ 中期目標期間終了時に見込まれる 業務実績評価結果について

（地方独立行政法人法第28条第5項の規定に基づく報告）

※詳細はタブレット配信している「地方独立行政法人市立大津市民病院
中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価結果報告書」を御確認ください。

1 期間見込評価の流れ

(1) 中期目標、中期計画の進捗管理

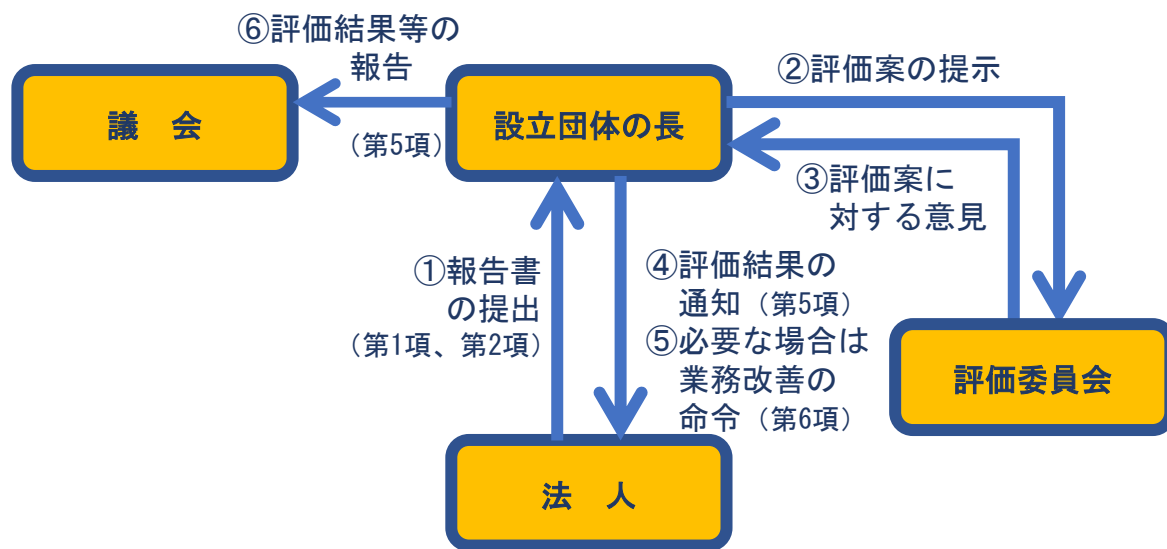
中期目標、中期計画の進捗管理と PDCA（PDS）サイクルの過程の関係

No.	PDS サイクル	発生する事象	根拠
1	P	中期目標の設定（変更含む）	地独法
2	P	中期計画の認可（変更含む）	条例
3	D + S	事業年度における第1から3四半期終了後、 事業年度終了時に見込まれる業績確認	条例
4	D + S	毎事業年度終了後の業績評価	条例
5	D + S	中期目標期間終了時に見込まれる 業績評価	地独法
6	S	中期目標期間終了時における業績評価	条例
7	S	中期目標期間終了後の検討	地独法

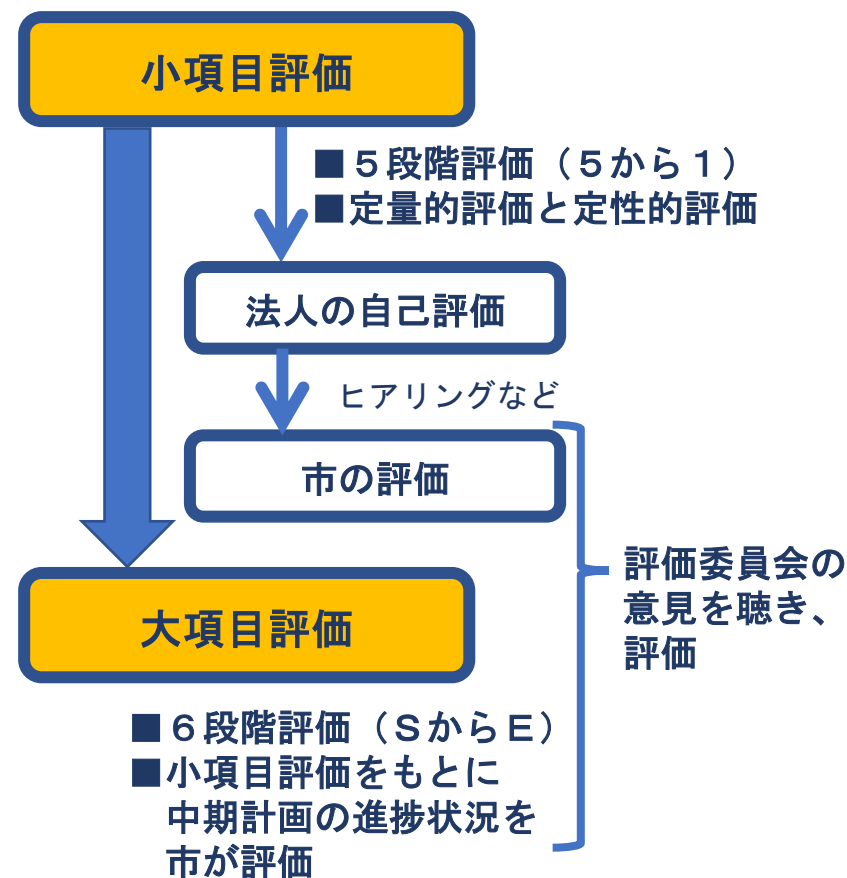
(2) 業務実績に関する評価結果の実施（地独法第28条）

ア 中期目標期間終了時に見込まれる
業績評価

P D C A（P D S）サイクルの過程
[D + S]



イ 業務実績評価の流れ



評価委員会の意見を聴かなければならない
（根拠：地方独立行政法人法第28条第4項）

2 大項目評価

(1) 全体評価（評価結果及び判断理由）

- 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上はやや遅れている。また、財務内容の改善は遅れていることから、それぞれ注視する必要がある。
- 中期目標期間である4年間のうちの3年間を振り返ると、中期目標の達成に向けて、法人が掲げる重要業績評価指標では、多くの指標で年度計画値の達成には至っておらず、経営改善のスピードは計画より遅いが、経営環境の変化に対応した取組を着実に推進している。
- 総務省「公立病院経営強化ガイドライン」に適切に対応している。
- 単年度資金収支や経常収支比率は、年度計画値の達成にわずかに至らなかった。
- 新型コロナウイルス感染症に適切な対応したことによる補助金で、資金残高は高水準となったが、補助金は終了したので注意が必要。
- 地域からの更なる信頼の向上を目指すとともに、限られた経営資源を効率的かつ効果的に活用し持続可能な病院経営の実現を求めたい。

(2) 大項目の評価結果

No.	大項目		大項目評価
1	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	C	やや遅れている
2	第3 業務運営の改善及び効率化	B	おおむね計画どおり進んでいる
3	第4 財務内容の改善	D	遅れている

【参考】

大項目評価基準	S	A	B	C	D	E
	特筆すべき進捗状況にある。 (全ての小項目の評価が3から5まで、かつ、評価委員会が特に認める場合)	計画どおり進んでいる。 (全ての小項目の評価が3から5まで)	おおむね計画どおり進んでいる。 (小項目の評価において3から5までが8割以上)	やや遅れている。 (小項目の評価において3から5までが5割以上8割未満)	遅れている。 (小項目の評価において3から5までが5割未満)	重大な改善すべき事項がある。 (評価委員会が特に認める場合)

3 大項目別 小項目ごとの評価結果

(1) 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

ア 評価結果 → C やや遅れている。

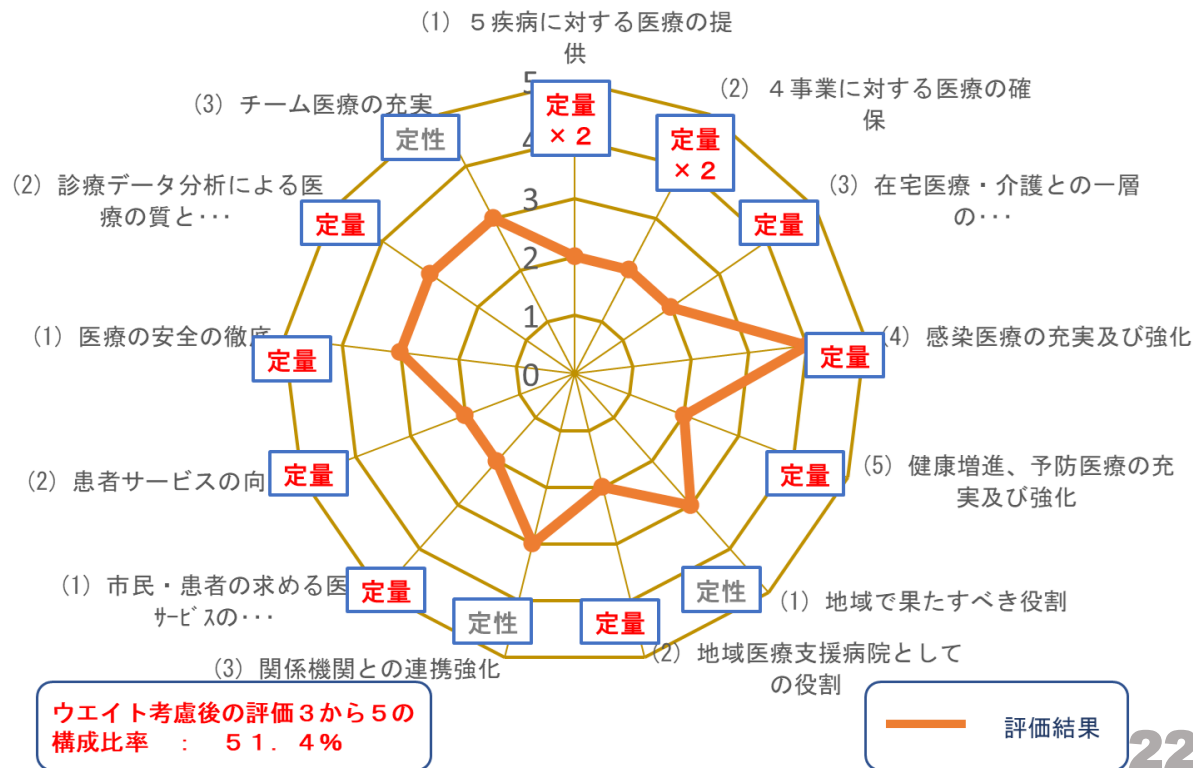
大項目評価基準	S 特筆すべき 進捗状況にある。	A 計画どおり進んでいる。	B おおむね計画どおり 進んでいる。	C やや遅れている。	D 遅れている。	E 重大な改善すべき 事項がある。
---------	------------------------	------------------	--------------------------	---------------	-------------	-------------------------

イ 判断理由（主なもの）

▲ 5 疾病 4 事業の項目の指標
達成度は芳しくない。

○ 新型コロナウイルス感染症
拡大に対し重要な役割を果たした。

ウ 小項目ごとの評価結果 （レーダーチャート）



エ 指標とその水準、重要度・困難度

a 市民病院としての役割にかかる指標

No.	指標	中期目標の水準	重要度、困難度	見込評価時点※
1	救急搬送応需率	98.7%以上	高齢社会の進展により救急搬送患者数は増加傾向にある一方で、医師の確保が困難である環境やその働き方改革が求められることなどを考慮すると、その困難度は高い。	▲96.8%（令和5年度実績値）
2	訪問看護認定看護師数	1人以上	地域包括ケアシステムを構築するために、訪問看護ステーションの機能を強化するものであり、その重要度は高い。	▲ゼロ（令和5年度実績値）
3	感染管理認定看護師数	2人以上	今後も圏域の感染症医療において中心的な役割を果たすものであり、その重要度は高い。	○2人（令和5年度実績値）
4	市民向け公開講座及び健康講座の開催回数及び延べ受講者数	8回 及び 512人以上	市民の主体的な健康の維持増進のために、公開講座及び健康講座を定期的を開催するものであり、その重要度は高い。	○11回、512人（令和5年度実績値）

b 市民・患者への医療サービスの向上にかかる指標

No.	指標	中期目標の水準	重要度、困難度	見込評価時点※
1	外来患者満足度	85.7%以上	市民とともにある健康・医療拠点であるために、市民・患者の求める医療サービスを提供するものであり、その重要度は高い。	▲79.9%（令和5年度実績値）
2	入院患者満足度	93.2%以上		○93.7%（令和5年度実績値）

※見込評価時点で、「○」は水準以上、「▲」は水準未満

(2) 第3 業務運営の改善及び効率化

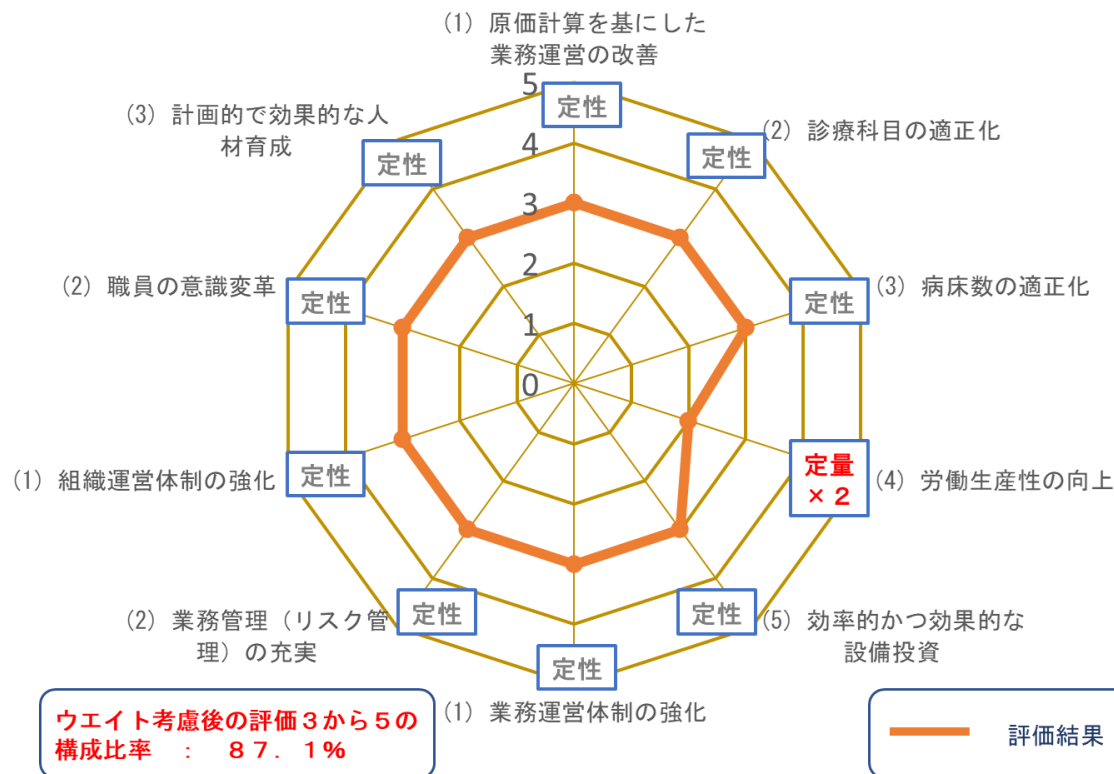
ア 評価結果 → B おおむね計画どおり進んでいる。

大項目評価基準	S 特筆すべき 進捗状況にある。	A 計画どおり進んでいる。	B おおむね計画どおり 進んでいる。	C やや遅れている。	D 遅れている。	E 重大な改善すべき 事項がある。
---------	------------------------	------------------	--------------------------	---------------	-------------	-------------------------

イ 判断理由（主なもの）

- 理事長及び院長が、組織風土の刷新に努めている。
- 人事制度面から幹部職員育成のスピードアップを図っている。
- 医師の働き方改革に向けて適切に対応している。
- ▲ 労働生産性の向上に関する指標は計画値の達成には至らなかった。

ウ 小項目ごとの評価結果
（レーダーチャート）



エ 指標とその水準、重要度・困難度

a 経営の効率化にかかる指標

No.	指標	中期目標の水準	重要度、困難度	見込評価時点※
1	医師 1 人 1 日当たり診療 収入	282.4千円以上	医師の労働生産性を高めることは経営を 効率化させるものであり、その重要度は高 いが、医師のタスクシェアやタスクシフト を構築する必要がある、また、これまでの 実績を考慮すると、その困難度は高い。	▲ 209.0 千円（令 和 5 年 度 実 績 値）
2	1 0 0 床当たり医師数	25.3人以下		▲ 28.5 人（令 和 5 年度実績値）

※見込評価時点で、「○」は水準以上、「▲」は水準未満

(3) 第4 財務内容の改善

ア 評価結果 → D 遅れている。

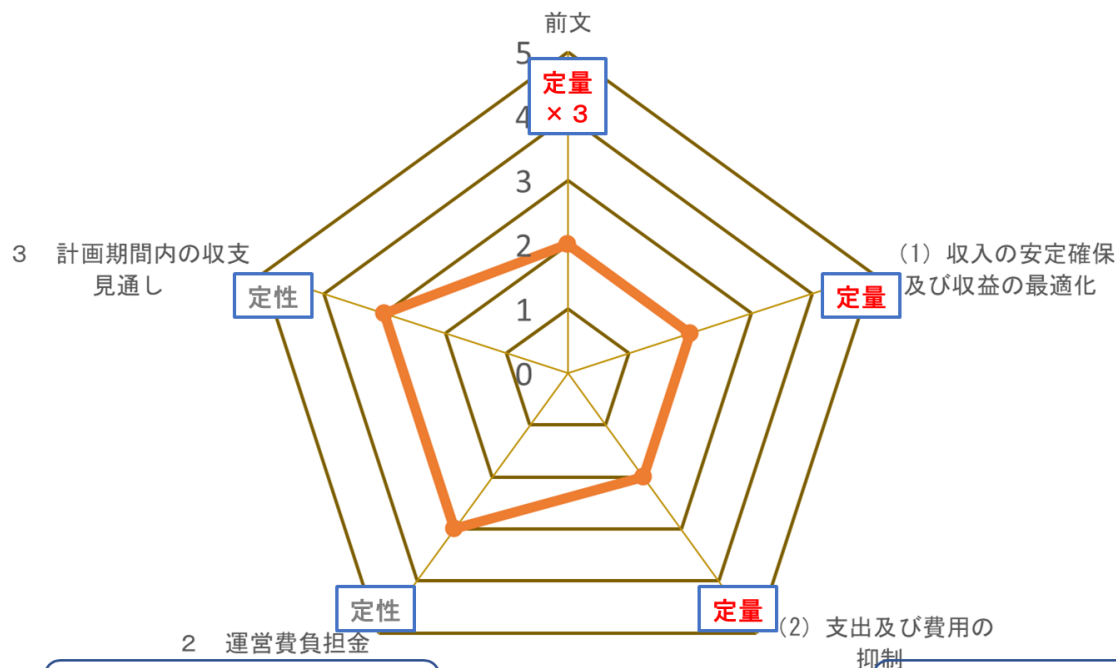
大項目評価基準	S 特筆すべき 進捗状況にある。	A 計画どおり進んでいる。	B おおむね計画どおり 進んでいる。	C やや遅れている。	D 遅れている。	E 重大な改善すべき 事項がある。
---------	------------------------	------------------	--------------------------	---------------	-------------	-------------------------

イ 判断理由（主なもの）

▲ 総務省「公立病院経営強化ガイドライン」で経常収支比率100%以上は必達。
収益の最適化と費用の抑制による経営改善が必要。

△ 新型コロナウイルス感染症に適切な対応したことによる補助金で、資金残高は高水準となったが、補助金は終了したので注意が必要。

ウ 小項目ごとの評価結果
（レーダーチャート）



ウエイト考慮後の評価3から5の
構成比率 : 37.5%

エ 指標とその水準、重要度・困難度

a 収支バランスの適正化にかかる指標

No.	指標	中期目標の水準	重要度、困難度	見込評価時点※
1	単年度資金収支	零以上	財務運営を安定させることは収支のバランスを保つ上で必須であり、その重要度は高いが、これまでの実績を考慮すると、その困難度は高い。	▲ △ 25 百 万 円 （令和 5 年度実績値）
2	経常収支比率	100%以上		▲ 96.4 % （令和 5 年度実績値）
3	営業費用対医業収益等	108.2%以下	費用対効果を改善させることは安定した財務運営を行う上で必須であり、その重要度は高いが、これまでの実績を考慮すると、その困難度は高い。	▲ 123.9 % （令和 5 年度実績値）
4	職員給与費対医業収益等	54.0%以下		▲ 72.3 （令和 5 年度実績値）

※見込評価時点で、「○」は水準以上、「▲」は水準未満